



陶面

詩情の陶彫

藤平 伸展

2004.10.1 金 — 12.25 土

開館時間 9:30—17:30 [入館は17:00まで]

年中無休 [但し12月28日—1月1日を除く]

入館料 一般1,000円 [4枚セット券3,000円]/大学生800円/高校生500円/中学生以下無料

藤平伸列品解説 10月17日(日)・11月21日(日) 14:00—



paramitamuseum

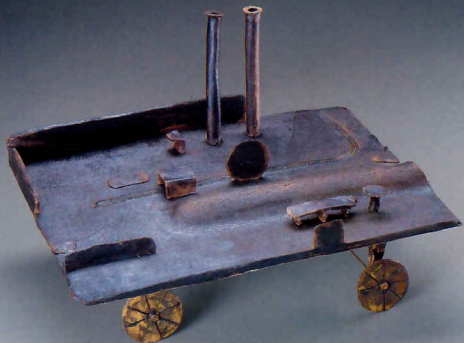
〒510-1245 三重県三重郡菰野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.0593-91-1088 Fax.0593-91-1077
<http://www.paramitamuseum.com> E-mail=office@paramitamuseum.com

MAPCODE® 566359095

太郎の雪



汽鐘車



旗船



少女像



詩情の陶彫 藤平伸展

2004.10.1 金 — 12.25 日

藤平伸は1922(大正11)年、京都五条坂に藤平陶器所を営む藤平政一の次男として生まれました。父の仕事を見ながら成長した藤平伸は、京都高等工芸学校(現・京都工芸繊維大学)窯業科に入学しましたが、2年目にして結核にたおれ、4年間の療養生活を余儀なくされました。戦後、藤平陶器所は復活しましたが、次男の藤平伸は比較的自由に陶芸以外の絵画などにも取り組むことができました。藤平伸がはじめて公募展に陶芸作品を出品したのは遅咲きの31歳、「日展」初入選でした。陶芸に対する気負いもなく、まさに自然体の姿勢は、以来50年を経た今日まで続く藤平伸の作陶の詩情の源なのかもしれません。

数々の受賞歴に輝き、京都市立芸術大学の教授まで務めた藤平伸は、現在京都東山の陶房で、悠々と詩情あふれる作品を作り続けています。

今回はパラミタミュージアムの収蔵作品100点余りを展示し、藤平伸の文人的感性が生み出す陶彫の世界をお楽しみいただきます。



ラッパを吹く少年

交通機関

[自動車] 東名阪[四日市IC]より国道477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km

無料駐車場(普通車100台、大型バス駐車可)

[電車] 近鉄[四日市駅]下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分
[大羽根園駅]下車、西へ300m、国道477号線沿い北側
全館バリアフリー対応、常備車椅子4台

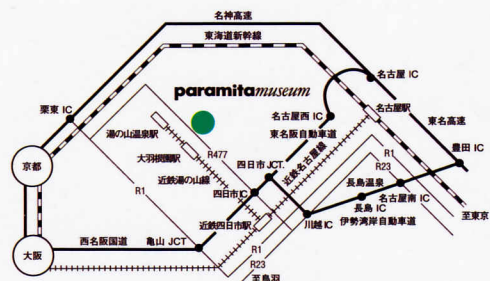
問い合わせ先: paramita museum

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.0593-91-1088 Fax.0593-91-1077

<http://www.paramitamuseum.com>

E-mail:office@paramitamuseum.com



paramitamuseum